

三六災害50年 シンポジウム

三六災害から学ぶこと～地域の防災力向上をめざして～

昭和36年6月、伊那谷を襲った大災害(通称「三六災害」)から今年で50年の節目を迎えます。この災害を風化させず、教訓として継承し、国、自治体、地域社会や住民一人ひとりが自らの課題として防災に関する知識を深め、問題意識を共有して、水害・土砂災害に備えた地域づくりを目指すことを目的に、シンポジウムを開催します。



大鹿村北川



阿島橋上空から天竜川の上流を望む



児童の現場体験学習

参加無料

満席の場合は
ご入場いただけ
ないことが
あります

平成23年6月19日(日)

飯田文化会館

大ホール 12:45～17:20 (開場12:15)

展示室・屋外展示 10:00～16:00

日曾利橋上空付近から天竜川の下流を望む(提供:中川村 撮影者:小林兼久氏)

[プログラム]

展 示	10:00～16:00	式 典	14:00～14:40
◎防災技術展示 ◎災害パネル展示	◎地域防災活動展示 ◎ロゴマーク作品展示	◎災害対策車両等展示	◎来賓の挨拶 ◎災害当時の記録映像の上映

基 調 講 演	14:40～15:30
----------------	-------------

「三六災害と伊那谷 ～地形・地質と災害との関連から～」

理学博士 松島 信幸

パネルディスカッション	15:40～17:20
--------------------	-------------

「三六災害から50年
～共助力の再興とその補完について～」

コーディネーター 北澤 秋司 信州大学名誉教授
パネリスト 松下 寿雄 飯田町議会議長
草野 慎一 国土交通省天竜川上流河川事務所長
柳島 貞康 大鹿村長
米窪 砂男 災害ボランティアコーディネーター
木下 隆由 飯田商工会議所副会頭

HP ▶ <http://www.cbr.mlit.go.jp/tenjyo/think/saburoku/index.html>

[主催] 三六災害50年実行委員会

信州大学名誉教授北澤秋司／林野庁南信森林管理署／林野庁伊那谷総合治山事業所／気象庁長野地方气象台／国土交通省天竜川上流河川事務所
国土交通省三峰川総合開発工事事務所／国土交通省飯田国道事務所／国土交通省天竜川ダム統合管理事務所／長野県上伊那地方事務所
長野県下伊那地方事務所／長野県伊那建設事務所／長野県飯田建設事務所／長野県下伊那南部建設事務所／飯田市／伊那市／駒ヶ根市
上伊那広域連合(※1)／南信州広域連合(※2)／下伊那郡町村会／下伊那土木振興会

※1. 上伊那広域連合 - 伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村

※2. 南信州広域連合 - 飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村

[協賛] 新建新聞社／特定非営利活動法人天竜川ゆめ会議／秋葉街道信通ネットワーク(社) 中部建設協会／長野県砂防ボランティア協会／社団法人日本地すべり学会中部支部／(社) 長野県建設業協会飯田支部
一般社団法人長野県南部防災対策協議会／長野県測量設計業協会南信支部／(株) チャンネル・ユー

[後援] SBC信越放送／NBS長野放送／TSBテレビ信州／長野朝日放送／NHK長野放送局／飯田エフエム放送／飯田ケーブルテレビ／エコーシティ・駒ヶ岳／伊那ケーブルテレビジョン株式会社／長野日報社
南信州新聞社／信州日報株式会社／中日新聞社／朝日新聞長野総局／信濃毎日新聞社／読売新聞松本支局／毎日新聞松本支局／産経新聞社長野支局／日本経済新聞社松本支局／株式会社建通新聞社
アド・ブレン／アド・プランニング／NTT東日本長野支店／中部電力株式会社／NEXCO中日本名古屋支社／日本赤十字社長野県支部／信州大学農学部／三峰川みらい会議／伊那谷自然友の会
社団法人 全国治水砂防協会／長野県河川協会／長野県治水砂防協会／社団法人 砂防学会／地盤工学会 中部支部／(社) 長野県建設業協会伊那支部／一般社団法人南信防災情報協議会
建設業労働災害防止協会長野支部飯田分会／建設業労働災害防止協会長野支部伊那分会／長野県上伊那山林協会／下伊那山林協会／長野県大規模災害ラジオ放送協議会

[お問い合わせ] 三六災害50年実行委員会事務局 〒399-4114 長野県駒ヶ根市上穂南 7-10 国土交通省天竜川上流河川事務所 砂防調査課内
TEL:0265-81-6417 FAX:0265-81-6420 e-mail: tenjyosabochosa@cbr.mlit.go.jp

サイドイベント 12:45～13:45 演劇「演劇的記録 三六災害五十年」 ※南信州広域連合の取り組みで、三六災害をテーマにした演目が上演されます。

三六災害50年 シンポジウム

三六災害から学ぶこと
～地域の防災力向上をめざして～

[基調講演者]



理学博士 松島 信幸

昭和6年生まれ。長野県高森町在住。長野県内の小中学校で理科教師を38年間つとめる。在職中より伊那谷各地の地質調査をおこない、伊那谷の地層や断層に精通。伊那谷自然友の会会員。飯田市美術館顧問。三六災害時は飯島中学校で豪雨のなか、生徒の集団下校を先導した。惣兵衛堤防の水防活動に参加。

[コーディネーター]

信州大学名誉教授 北澤 秋司

昭和8年生まれ。長野県伊那市在住。長野県内の中学校で理科教師をつとめた後、信州大学農学部で研究者として従事し、現職。専門は治山学、防災工学。農学博士。三六災害体験後、防災工学の研究に本格的に取り組む。

[パネリスト]

飯島町議会議長 松下 寿雄

昭和11年生まれ。長野県飯島町在住。昭和44年に(有)松下建設を設立。飯島町議会議長を経て現職。そのほか飯島ロータリークラブ会長、飯島町商工会理事等を歴任。三六災害時は、河川の氾濫や土砂崩れにより家屋が全壊した経験を持つ。

国土交通省天竜川上流河川事務所長 草野 慎一

昭和40年生まれ。長野県駒ヶ根市在住。平成元年に国土交通省へ入省後、主に洪水対策及び土砂災害対策に関する業務に従事し、現職。事務所では、河川堤防や砂防堰堤の建設等のハード対策、災害情報の収集や発信といったソフト対策を実施中。

大鹿村長 柳島 貞康

昭和26年生まれ。長野県大鹿村在住。昭和50年から大鹿村役場に勤務し、住民課長、保健福祉課長、総務課長を経て、平成21年より現職。三六災害時は小学校4年生で、人力のみで開墾した田畑が、一夜で跡形もなくなった経験を持つ。

災害ボランティアコーディネーター 米窪 砂男

昭和23年生まれ。長野県伊那市在住。日本電産システム(株)に勤務し、IT開発に従事。平成20年に定年退職後、現職。そのほか伊那地区社会福祉協議会会長等を兼任。災害に備え行政と協力し、災害ボランティアセンターの迅速な立ち上げにむけて活動中。

飯田商工会議所副会頭 木下 隆由

昭和15年生まれ。長野県飯田市在住。昭和41年に木下建設(株)入社後、常務、専務を経て、昭和63年より代表取締役社長。そのほか飯田建設業クラブ会長等を兼任。災害発生に備え、個人として会社として、行政及び地域と協力できるよう活動中。

[プログラム]

展 示

10:00~16:00

展示室・屋外展示

- ◎ 防災技術展示
- ◎ 災害パネル展示
- ◎ 地域防災活動展示
- ◎ ロゴマーク作品展示
- ◎ 災害対策車両等展示

・土砂災害、水害等の自然災害に際して、家庭で備蓄しておく役立つ防災グッズや防災関係の情報ツール等を展示。
・三六災害の概要、災害発生箇所の当時と現在の写真、災害体験談等のパネルを展示。
・地域での防災活動の事例を紹介するパネル・ポスターを展示。
・ロゴマーク作成に協力いただいた飯田長姫高等学校生徒の皆さんの作品を展示。

式 典

14:00~14:40

大ホール

- ◎ 来賓の挨拶
- ◎ 災害当時の記録映像の上映

基調講演

14:40~15:30

大ホール

「三六災害と伊那谷 ～地形・地質と災害との関連から～」

理学博士 松島 信幸

伊那谷の地形・地質の特徴と被害の実態から災害パターンを明らかにし、自身の災害体験からの教訓や災害への備えを語る。

パネルディスカッション

15:40~17:20

大ホール

「三六災害から50年 ～共助力の再興とその補完について～」

- | | | |
|----------|-------|------------------|
| コーディネーター | 北澤 秋司 | 信州大学名誉教授 |
| パネリスト | 松下 寿雄 | 飯島町議会議長 |
| | 草野 慎一 | 国土交通省天竜川上流河川事務所長 |
| | 柳島 貞康 | 大鹿村長 |
| | 米窪 砂男 | 災害ボランティアコーディネーター |
| | 木下 隆由 | 飯田商工会議所副会頭 |

三六災害当時と現代を比較し、防災体制や社会環境、住民意識の変化を明らかにしたうえで、各パネリストの立場から、現代の伊那谷での防災の課題・問題点を整理し、地域の中でのこれからの防災力の強化（特に共助力の再興）について考える。

平成23年 6月19日

飯田文化会館

大ホール・展示室・屋外展示

〒395-0051 飯田市高羽町5-5-1

TEL.0265-23-3552

【電車】 JR飯田線、飯田駅より徒歩約10分

【車】 飯田ICより約15分、松川ICより約25分
自家用車でおいでの方は飯田文化会館駐車場をご利用ください。



サイドイベント 演劇「演劇的記録 三六災害五十年」

※南信州広域連合の取り組み

12:45~13:45

大ホール

三六災害下で繰り広げられた劇的なドキュメントを拾い上げ、芝居、語り、合唱、映像によるコラボレーションで表現する。災害の悲惨さを伝え、これに関わった人間のドキュメントを描く。

- 作・構成・演出：ふじた あさや
- 音 楽：川崎 絵都夫
- 出 演：演劇集団「演劇宿」、記録作文集「濁流の子」を書いた方々、当時の被災地域の方々を中心とした合唱
- 上演対象：小中学生以上

※未就学児のご入場はお断りします。託児（無料）を用意しておりますので、ご希望の方は6月10日（金）までに実行委員会（0265-81-6417）までお申し込みください。

事前の参加申し込みは必要ありません。参加ご希望の方は、直接会場までお越しください。